

海外での養殖事業に貢献する岐阜の清流の恵み

－海外からの研修員が触れる

岐阜県水産研究所が有する技術、鮎の日イベントでの市民の鮎への思い－

JICA は、7月11日から8月3日まで、フィリピン・ケニア・イラクといった開発途上国の水産分野の研究者や行政官等(計9名)を招聘し、内水面と呼ばれる淡水(湖、河川)での養殖技術や漁法習得のための研修「小規模内水面養殖」を実施しています。

これは、岐阜県水産研究所をはじめとした岐阜県内の様々な機関の協力を得て実施する研修です。「内水面養殖」に代表される内水面漁業とは、河川・湖沼などで行う漁業や養殖業を指し、長良川・揖斐川・木曾川の清流の恵みを活かした岐阜県ならではの研修と言えます。

本研修の一環として、7月26日(金)に岐阜県水産研究所において、研修員がアユの人工授精の実習を行います。開発途上国では、人工受精は行っていますが、生産効率を高める技術はあまり使用されておらず、高度な施設や試薬を必要としない、研修員の帰国後に導入が可能な技術を伝えることで、適応可能な技術を研修員が自国で普及していくことが期待されています。

また、7月28日(日)には、岐阜県 GIAHS 鮎の日イベントに研修員が参加し、メイン会場となる「清流長良川あゆパーク」において、地元の郡上北高生徒との交流を行います。本イベントを通じ、鮎を身近に感じる岐阜の人々の意識に触れ、自国での意識啓発につながることを期待されています。

ぜひ取材をご検討ください。(日本語・英語の通訳がつきます。)

取材をご希望の場合は、7月25日(木)17時までに下記宛にご連絡をお願いいたします。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 中部 研修担当 糸山 大志 〒453-0872 名古屋市中村区平池町4-60-7	TEL : 052-533-0220 / FAX : 052-564-3751 e-mail : Itoyama.Hiroshi@jica.go.jp
--	--

■取材候補日時

日	時間	プログラム/場所
7/26(金)	10:00~12:00	アユの精巢内精子を用いた人工授精 / 岐阜県水産研究所(各務原市川島笠田町官有地無番地(河川環境楽園内))
7/28(日)	10:00~14:00	郡上北高生徒との交流 / 清流長良川あゆパーク(岐阜県郡上市白鳥町長滝)